

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.116 2004. 5

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集 好評展開中！ あおば紙の日



- 教えて、聞かせてフアイバーリサイクルで集まった着物がこんなふうに役立てられています — P3
- 今月のリサイクルデザイナー — P6
- ただいま子育て奮闘中 野菜好きのヒミツ?! ・コラム「リサイクル今とむかし」こぼれ話 — P7
- リサイクルデザインサポーター募集・出前講師派遣します — P8

好評展開中!

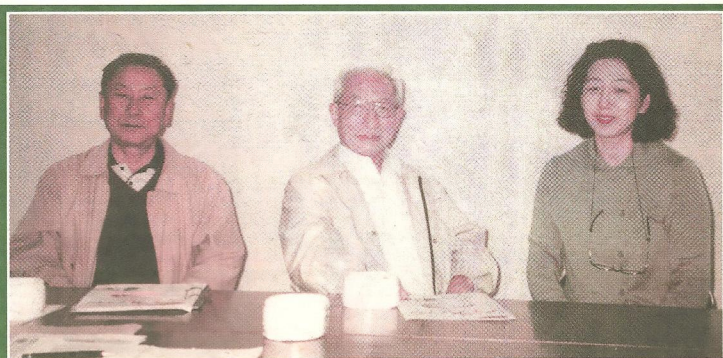
あ お ば 紙 の 日

家庭ごみ（燃やすごみ）の約38%を占める紙類をできるだけ多く資源として回収するために、青葉区の一部地域では昨年末から独自の取り組みを行っています。“あおば紙の日”と名付けられた週に1回の回収日は、少しずつ住民の意識に根付いてきたようです。さらにこれをきっかけにして、新たな町づくりへの期待もふくらんでいるとか。“町のためにできること”を模索する町内会長さんたちにお話をうかがいました。

古紙の回収日を増やして！の声に応じて

青葉区の東急たまプラーザ駅にほど近い美しが丘1丁目では、昨年10月から横浜G30プランのモデル地区として、細分化した資源となるものの分別収集に取り組んでいます。慣れないうちは、町内会に住民からの要望がいくつも上がりましたが、中でも多かったのが「古紙の回収が月に1回では少ない。部屋に紙があふれてしまって困る」「1ヵ月分をためると重すぎて、集積場所に運ぶために何回も往復しなくてはならないへん」といった声。それに耳を傾け、環境事業局青葉事務所に相談したのが「あおば紙の日」の誕生のきっかけでした。「青葉事務所に相談したのが11月で、

その月末に“こういう取り組みもありますが、どうですか”と提案されたのが“紙の日”でした。お、これはいいい、やれそうなことはどんどんやってみよう、ということですぐに採用を決めました。その後の青葉事務所の対応は素晴しかったですよ」と、美しが丘連合自治会・会長の兼平謙一郎さんは話します。



お話をしてくださった美しが丘連合自治会の方々。
左から須田副会長、兼平会長、辺見理事。

発端となったモデル地区の1丁目に加え、同じように古紙の収集を要望する声の多かった2、3丁目も参加することになりました。

紙の日ってなあに？ ルールは？

“紙の日”は、新しいスタイルの資源集団回収の方法として、当組合が横浜市に提案したものです。具体的には、次のようなルールを定めています。

- 連合町内会単位で回収します。
- 分別の仕方は、現行の資源集団回収における分け方に準じます（別表を参照）。雨天決行。
- 1週間に1回、決められた曜日に回収します。
- 電柱や現行のごみ集積場所を利用し、基本的には約20世帯に1ヵ所を設定します（※参照）。
- 連合町内会単位での回収量の報告を回覧板などにて報告します。

*犬は散歩途中、電柱やその他の目標物に立ち止まりながら、自分のテリトリーをくまなく確認しています。これにヒントを得て、電柱や既存のごみステーションなどを集積場所として巡回する回収方式を“ドッグボール方式”と名付けました。

「紙の日」回収 紙の分け方・出し方

種類	主な対象物	出し方
新聞	・新聞 ・折込チラシ…新聞と同配される折込チラシ	・新聞と同配される折込チラシは、新聞と一緒にお願いします ・四つ折りにして一緒にまとめて紙ひもなどで十文字にしばってください
雑誌	・雑誌…週刊誌、漫画本、専門誌など (紙製以外の付録は取り除く) ・本…単行本、辞典、教科書など (布やビニールなどの表紙は取り除く)	・大きさをそろえて一緒にまとめて紙ひもなどで十文字にしばってください
雑紙	・OA紙・チラシ類…ファックス用紙、チラシ類 (感熱紙は×) ・包装紙・紙袋…デパートの包装紙や紙袋 (紙以外の部分は取り除く) ・紙箱…お菓子、靴、お歳暮やお中元のなどの箱 (紙以外の部分は取り除く)	・OA紙、包装紙、紙箱は、紙袋に入れて散らばらないようにしてください
段ボール	・アルミコーティング、ワックス加工は×	・折りたたんで紙ひもなどで十文字にしばってください
紙パック	・アルミコーティングは× ・プラスチックの口は取り除いてください	・紙パックを開き、水洗いして乾燥させてください ・大きさをそろえて紙ひもなどで十文字にしばってください



やってみたら、あっちこっちで大好評

住民と行政の息の合った迅速な準備の末、美しが丘1丁目から3丁目は「あおば紙の日」第一弾として昨年12月16日に先陣を切ってスタートしました。現在、6000世帯から1週間に平均して8トンの古紙を回収しています。

平成14年度の区別資源集団回収量を見ると、青葉区は1世帯あたり58.1kgでしたが、上記の結果をもとにすればそれが67.6kgに増える見込みです(年間52週として計算)。

同副会長の須田春雄さんは、紙の日に対する住民の感想をこう語ります。「みんな喜んでいますよ。手慣れた場所に、あらゆる紙関係を出せると言っただけ。所によっては、小学校での集団回収に以前から参加してきた地域もあって、そういう場合は先にあった方を優先してほしいと言っていますが、それでもずいぶん多くの人が協力してくれています」

「そうですね。学校や新聞販売店の回収もありますが、だいたい1カ月に1回と少ないから、週に1回の紙の日はたいへん好評です。これまで、部屋にたまってしまっていたり、心苦しい思いで止むなく古紙を捨てていた方たちが、喜んで紙の日に出してくれているようです。ルールが簡単で、今

週は家を空けるので出せないから来週出しましょう、というような融通がきくところが良いですね」

同理事の辺見真智子さんも太鼓判を押します。

その後、第二弾として3月8日からは青葉区南部の奈良北団地(約1600世帯)でも紙の日がスタート。今年度中に区内全域で展開することを目標としています。

これからの課題と町づくり

始めてわずか数ヵ月で大きな効果を得たわけですが、これからの課題は何でしょうか。

「確かに実績は上がっています。けれど、まだまだ周知されていません。全く参加しない方もいらっしゃるし、まちがった出し方や分別をしている場合が多いですね。もっと、周知を徹底させる必要があると思います。どうして新聞紙をガムテープでグルグル巻きにしちゃいけないのか、なぜ紙ひもで束ねたほうが良いのか、なぜカタログや書籍は雑誌と一緒にして良いのか、など、理由がわからないことが多いのも問題です」

古紙は、その種類によって再生のルートが違うので、きちんとした分別が何より大切です。せっかく紙の日に出

しても有効に利用されなければもったいないことに……。辺見さんのご意見はもっともです。さっそく、当組合の“出前講師”の活用を提案させていただきました。

兼平会長を筆頭とする各町内会のまとめ役の他、たまプラーザ周辺には商店会にも熱心に町づくりを考える人々がそろっています。夏祭りの時に資源となるものの分別を勧めるビデオを上映しようとか、住民にエコ・バッグを配付してゴミを減らす運動をしよう、などのプランが次々にあがっています。会長いわく「ごみがとりもつ縁だね。これからの町づくりは安全と清潔、これに限るよ」と、頼もしい笑顔を見せてくれました。





教えて、聞かせて

ファイバーリサイクルで集まった着物が こんなふうに使われています

べべ着て遊ぼ

3月桃の節句、普段は着ることのほとんどない着物を着ておひな様の前で遊びましょう。

そんな可愛らしい催しが、緑区の新治市民の森や梅田川といったゆたかな自然が広がる一角にある旧奥津邸で開かれました。この旧奥津邸は、長屋門などが残る建物を保存し活用してほしいと市に寄贈されたもので、現在、周辺地域も含め公園予定地としてどのような公園にしていけるか市民と共にモデル事業やイベントを行いながら話し合いがすすめられています。

そのイベントの一環として「べべ着て遊ぼ！」が3月6日土曜日に行われました。「おはようございま〜す」と近所の小学校や保育園に通う女の子たちがお母さんやおじいちゃん、おばあちゃんと一緒にやってきました。

お手玉、あやとり、 紙ふうせん、 たくさんあそびました

さあ、まずは着物を着ましょう。そこで、登場したのがファイバーリサイクルネットワーク(FRN)のみなさんが持参してくれた赤や黄色など色鮮やかな着物や帯など。どれもファイバーリサイクルで集まったものとは驚きです。子どもたちの背丈に合わせて着物を選び、FRNのみなさんが手際よく着付けてくれます。あっという間に変身、とってもお似合いです。早速、お手玉やあやとり、淡い春らしい和紙で包んだ箱を釣る魚釣りゲームなど、大人も一緒に遊びました。自然に口ずさんだ懐かしい歌に合わせてのお手玉は、さすが昔取った杵柄、おばあちゃんやFRNのみなさんの見事な腕前が披露されました。子どもたちも見よう見まねで、最後にはずいぶん腕を上げた様子でした。

和服のリサイクル

今やお馴染みのファイバーリサイクルですが、着物も回収されていることは知っていましたか？。FRN代表の服部孝子さんは「古着や古布は回収拠点を通じて回収していますが、着なくなった和服はFRNの事務所へ段ボールで全国から送られてくるんですよ。回収した古布や古着は、ウエス（工業用雑巾）や反毛といわれる服地やフェルトなどに作りなおされて再利用されたり、洋服として着られるものは東南アジアなどへ輸出されますが、この国独特の和服は輸出できないですし、リサイクルのルートが少ないんです。そこで和服のリサイクルをすすめるために、『リサイクルきものフェア』や古布でぞうりや洋服などを作る講習会も開催しています。虫に食われたり、しみになった着物もありますが、必要な人のもとで役立てられるように取り組みをしています」と話していました。

今回の催しのように、子どもたちがリサイクルされた着物を着て遊んだりする、貴重な体験ができることは参加者にとってもうれしいことです。

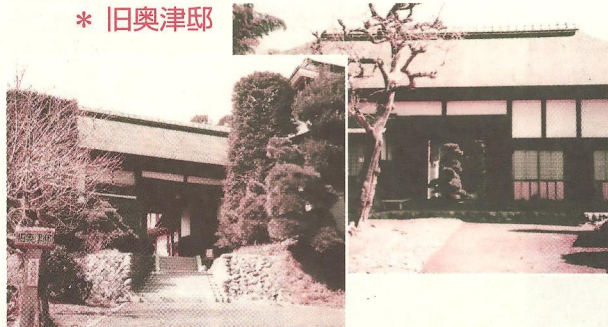
途中、鎌倉から新治市民の森を訪れた人が立ち寄る場面もあり、里山として残されているこの地域を、各地から訪れる人も多いことがわかります。

帰り際近所の小学校に通う女の子からは、「着物が着られてよかった。お手玉が上手になった」。おばあちゃんからは、「思いがけず孫たちの楽しそうな姿を見られてよかったです」という感想も。春の足音が聞こえてくる里山でのひととき。地域の資源とリサイクル、そして、この国の文化が上手くハーモニーを奏でた催しでした。

* ファイバーリサイクルネットワーク

回収業者と共に神奈川県内約250カ所の回収拠点で古布や古着の回収をしてリサイクル活動に取り組んでいる市民団体。回収やイベントでの収益金の一部は、市民基金として積み立て国内外の支援や災害支援等にあてています。年2回の『リサイクルきものフェア』では、約5000点の品々が200円から7000円程で販売され、毎回1000人以上が訪れるそうです。次の『リサイクルきものフェア』は、2004年11月2日（火）の予定。
問い合わせ：電話 710-6507

* 旧奥津邸



江戸末期に建てられ平成4年に半解体修理した長屋門をはじめ母屋、土蔵など横浜市認定歴史建造物として保存されています。里山が残された横浜随一の緑地帯の一つ新治地区にあり、この一帯では自然に関連した市民活動が活発に行われています。
問い合わせ：西部公園緑地事務所
電話 351-5024

平成16年度 横浜市環境事業局 予算(案)と事業展開

① ごみ減量・リサイクル推進

●G30啓発

- ・ごみ問題に関する市民の理解と関心を高め、市民が情報を選択して実際に行動できるよう、積極的に環境やごみに関する情報を発信します。
- ・幅広い年齢層を対象に、普及啓発や環境教育を実施します。

●家庭系ごみ対策

- ・プラスチック製容器包装、古紙、古布等の分別収集についてモデル事業を引き続き実施します。
- ・平成17年4月予定の全市展開を、16年10月から6区で前倒しして実施します。
- ・地域の資源集団回収を引き続き支援し、新たに各収集事務所を中心にセンターリサイクルを全区で実施します。
- ・電気式生ごみ処理機の購入助成を拡大します。

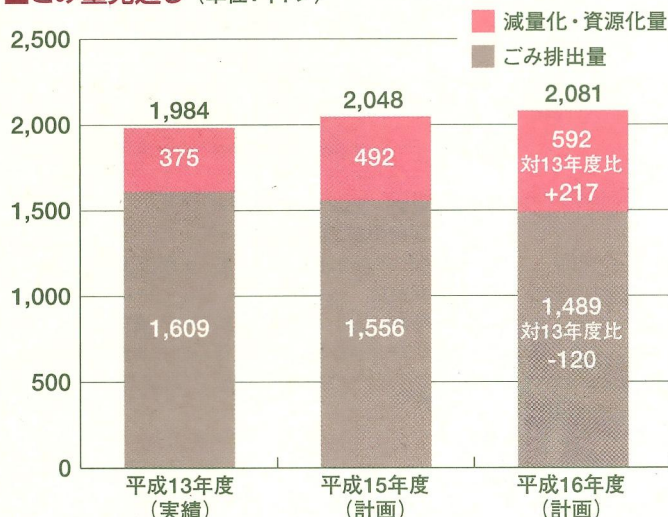
●事業系ごみ対策

- ・事業者や商店街などと連携して、取り組みを進めます。
- ・事業所への立ち入り指導を強化します。
- ・焼却工場への産業廃棄物などの不適正な搬入を防止します。
- ・徹底したごみの減量・リサイクルを進めます。

② 効率的な執行と市民サービスアップ

- ・家庭ごみ収集運搬については、西区全域と中区の一部で民間委託をするともに、神奈川輸送事務所、戸塚輸送事務所を委託し、港北輸送事務所を廃止します。

■ごみ量見通し (単位:千トン)



- ・ごみ収集車が通行できない狭い道路の地区を対象に軽トラックによる収集を実施し、市民の利便性の向上を図ります。
- ・小学生を中心とした地域のボランティアにより、ごみの持ち出しが困難な一人暮らしの高齢者や障害者を対象とした、ふれあい収集を実施します。
- ・不法投棄防止対策や放置自動車対策については、早期撤去に努め、地域団体や警察など関係機関と連携して、地域の実情に即した防止活動を展開します。

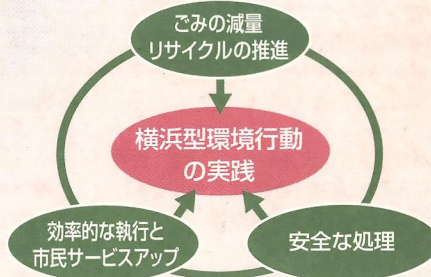
③ 安全な処理

- ・できる限りごみの焼却・埋立て処分をしないためには、ごみの発生を抑えることを第一に、再使用、再利用をすすめるとともに、なお残るごみについては安全、安定的に処理・処分する必要があります。このため、ごみ量に見合った焼却工場の能力を維持し、発電効率の向上を図るとともに、稼動停止後3年を経過した栄工場焼却プラントの屋外部分を解体します。
- ・ごみ焼却灰の有効利用を促進するため、灰溶融処理と普通セメント原料化等の事業化を検討します。
- ・市内唯一の内陸処分場である神明台処分場と海面埋立の南本牧廃棄物最終処分場の2つの既存処分場を引き続き有効に活用するとともに、長期に安定した廃棄物埋立事業を行うため、南本牧ふ頭第5ブロックに新規廃棄物最終処分場を整備するため環境アセスメントに着手します。

環境事業局の基本方針について

環境行動都市ヨコハマに向けて徹底したごみの減量・リサイクルを目指します。

予算重点施策の構成



ヨコハマはG30

市民意識の高揚 施策により期待される効果 処分地の延命化
ごみ減量・リサイクル 工場建設の先延ばし 規模の縮小 ごみ処理コストの低減

リサイクル掲示板

ファイバーリサイクル

●磯子区 5月8日(土)

場所：区内の小学校(17校)

時間：午前10:00～12:00 ※雨天実施

持参方法：衣類は洗濯してビニール袋に入れる。段ボール箱、紙袋は不可。
回収しないもの：布団綿、枕、人形、革製品、ビニールがついた素材など

問い合わせ 磯子区ごみゼロ推進担当 TEL750-2397

●南区 5月9日(日)

場所：南区役所、横浜市婦人会館、環境事業局南事務所、
三春台町内会館、寿東部地区連合町内会館、永田地区センター、
六ッ川公民館、六ッ川スポーツ会館、大岡健康プラザ、
南土木事務所

時間：午前10:00～12:00 ※雨天実施

回収しないもの：布団、綿入りのもの、ビニール、革製品

問い合わせ 南区ごみゼロ推進担当 TEL743-8199

イベント

●鶴見区 5月16日(日)

三ツ池公園環境フェスティバル フリーマーケット

場所：三ツ池公園

時間：午前10:00～午後2:00

※荒天の場合は5月23日(日)

問い合わせ 鶴見区生涯学習支援係
TEL510-1692

●金沢区 5月22日(土)

第21回さわやかカモメ・フリーマーケット

場所：泥亀公園(金沢区役所隣)

時間：午前10:00～午後2:00 ※雨天中止

問い合わせ：金沢区ごみゼロ推進担当
TEL788-7802

●保土ヶ谷区 5月22日(土)

みんなあつまれ保土ヶ谷フリーマーケット

場所：保土ヶ谷区役所前広場

時間：午前10:00～午後2:00

※雨天の場合翌日(5月23日)

問い合わせ 保土ヶ谷区ごみゼロ推進担当
TEL334-6303・6304

注：不用衣類の回収を同時に開催

場所：区役所前広場、地区センター
(ほどがや・西谷・初音が丘)

※雨天翌日

●都筑区 5月22日(土)

消費生活フリーマーケット

場所：市営地下鉄センター南駅前広場

(雨天時はセンター南駅1階コンコース)

時間：午前10:00～午後3:00

問い合わせ 都筑区地域振興課
TEL948-2232

●緑区 5月29日(土)

緑区民フリーマーケット

場所：緑区役所前広場

時間：午前10:00～午後2:00

問い合わせ
緑区地域活動係「フリーマーケット」担当
TEL930-2232

センターリサイクル ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

●5月2日・16日(日)

・青葉区 センターリサイクル

環境事業局青葉事務所裏駐車場

時間：午前9:30～12:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、牛乳パック、
繊維類、小物金属、リターナブルびん

問い合わせ

環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025

●5月2日(日)

・泉区 センターリサイクル

環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、
毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、
アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所 TEL 803-5191

●5月8日(土)

・センターリサイクル inせや

瀬谷区二ツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天中止、車で搬入可

回収品目

新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック、古着、
古布、毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561

●5月8日・15日(土)

・南区センターリサイクル

環境事業局南事務所

時間：午前9:30～11:00

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、紙パック、アルミ
缶、スチール缶、びん類、プラスチック製容器
包装、古布

問い合わせ

環境事業局南事務所 TEL 741-3077

●5月9日(日)

・かながわ センターリサイクル

神奈川区 反町公園(神奈川区役所側)

時間：午前10:00～午後1:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、
古着・古布(肌着、シャツ、タオル類のみ)、
白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ TEL 413-3196

●5月15日(土)

・中区 センターリサイクル

①横浜公園日本大通り側

②環境事業局中事務所

時間：午前9:30～11:30

※雨天実施、車で搬入可

(ただし横浜公園内には車の乗り入れはできません。案内人が誘導します。)

回収品目

新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール、紙パック、古布、
缶、びん、ペットボトル、リターナブルびん、
プラスチック容器包装、スプレー缶

問い合わせ

区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140

●5月16日(日)

・旭区 センターリサイクル

環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00 ※雨天実施

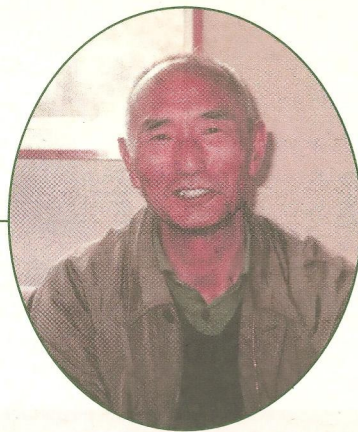
回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、
リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶、金属くず
プラスチック製容器包装、スプレー缶

問い合わせ

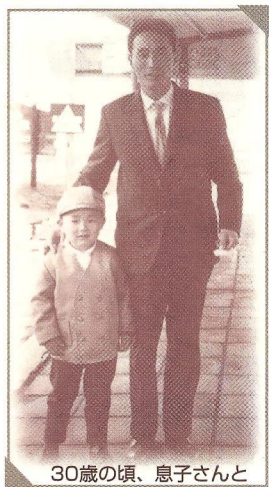
環境事業局旭事務所 TEL 953-4811

大川商店 大川 幸吉さん



めぐり、めぐって出会ったリサイクルの仕事

南区に住み、南区、中区を中心に約40カ所の古紙集団回収を妻と二人三脚でやっていましたが、妻を亡くしたあとに栄区に引っ越して、今は一人で仕事をしている大川さん。実は学校を卒業したあと、最初についた仕事は藤沢市の荒物屋でした。そこに『小僧』として4年勤め、26歳のときに独立。南区の清水が丘で食料品の卸しと小売りの店を持ちます。同時に結婚もして子どもをもうけました。ところが時代の流れで近所にスーパーなどの大型店舗が次々とでき、厳しい価格競争もあり経営が難しくなりました。そして30歳のときに店は倒産。借金を抱え、商売を縮小し小売業一本にして、さらにガードマンのアルバイトをすることに。



30歳の頃、息子さんと

「あのころは借金がかかり辛かった。横浜（金沢区）でガードマンをしていたんだけど、あの辺りは工場が多いでしょ。そのうちガードマンの仕事帰りにダンボールの回収をしたらどうかって勧めてくれる人がいた

んだ。それで昼間は小売りの仕事、夜はガードマン、帰りにダンボールを集めて回る。そういう生活を2年ぐらいしてたかな」

ちょうど古紙の高騰の時期に当たり、ガードマンをやるよりも高い給料がもらえることに気付いた大川さんは、ここからリサイクルの仕事を本業にすることになったのです。

「今は古紙だけだけど、前はアルミなどの金属も扱っていたから、（景気の）浮き沈みも何とか乗り越えてこれたよ」

プロフィール 1938年（昭和13年）生まれ山形県鶴岡市出身の65歳。40年ほど南区に住み、地元で古紙集団回収業を営んでいたが、11年前に妻を亡くし今は栄区で一人暮らしをしている。金沢区に住む一人息子は金融業に進み、中学2年生と、小学校2年生の孫がいる。「自慢じゃないけど、孫はサッカーをやっている横浜市の代表になって試合にも出たんだよ。本人はサッカー選手になりたいって思っているみたいだけど『そんな簡単なもんじゃないぞ』って戒めているんだよ。それがおじいちゃんとしてのつとめだと思うからね」言葉は厳しいが、目は孫のことを思い慈しむように笑っている。

人のつながりと信用が仕事をささえる

仕事が忙しくなかなかなか休みが取れない大川さん。それでも昔は釣りが好きで、仕事が終わったあとに夜釣りを楽しんでいました。つり道具にも凝り、あまりに熱中するのでしたっきりものの息子に釣竿を取り上げられたことも。食料品店をやっていたときには、大川さんが代表を務めて10年間、月1回、100名ほどの参加者を集めボーリング大会もしていました。

「ボーリングはたいして上手くないんだけど、みんなを集めてワーツと遊んでそのあとに飲みに行くのが楽しくってね。その分商売を頑張ればよかったんだけどね（笑）。でもそのときのつながりで仕事が増えたりもしてるんだよ」

信用を第一に考え、ときにはお客さんの目の前ではかりを出して古紙の重さを量ることもしているといいます。

「俺は跡は継がないから、おやじ、ちゃんと継いでくれる人探せよ」少し前に息子にそう言われた大川さん。ここまで築きあげてきた信用と、いまだに増え続けているお客さんのために、仕事を任せられる後継者を見つけています。

「あと5年。70歳になったら引退して小さい頃からの夢だった日本一周をしたいんだ。自転車です。ってわけにはいかないけどさ。そしてそのあとは世界一周かな」といずれ来る日を楽しみにしている大川さんでした。

びっくり その1

リサイクルボーイ・トイレットペーパーは、ごみが出ない芯なしロール。しかも専用ホルダーではなくふつうのホルダーで使えます。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。バージンパルプのティッシュよりお肌にやさしい！愛用者の某リサイクルデザインの関係者いわく、「ティッシュを使うと鼻の下がごわごわになるのに、このトイレットペーパーだと大丈夫なの」（実話です）。

トイレットペーパーは再生紙があたりまえ。だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ トイレットペーパー



★使ってびっくり

シングル芯なし130メートル1パック（6ロール）あたり価格420円

びっくり その2

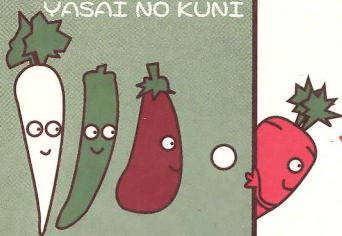
手にするとずっしり重い。それもそのはず、ふつうのトイレットペーパー（シングルで60m）の2倍以上の長さ（130m）です。「使っても使ってもなくなるんですね」との声も寄せられるほど（もちろんいつかはなくなるけど）。

注文受付は1ケース（48コ入=6コ入りパック×8）より1ケース 3,528円（消費税・配送料込み）

※振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得！（横浜市の支出命令書も使えます）

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045・316・4050 FAX 045・316・6050



野菜好きのヒミツ?!

ただいま子育て奮闘中! その23

鶴田 由紀

プロフィール

鶴田由紀 訳書(共訳)に「生物多様性の危機」(ヴァンダナ・シヴァ著 明石書店)。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。

うちの子は好き嫌いなし!

いきなり、わが子自慢になりますが、うちの4歳の息子は好き嫌いがほとんどありません。野菜、果物、キノコ、豆、海藻、肉、魚、その他何でも食べます。ひじきもおからも切り干し大根も五目豆も高野豆腐も大好き。嫌いなものは納豆くらいです。

一方、私は嫌いなものがすごく多い子どもでした。型どおりのニンジン、ピーマン、タマネギの他、シイタケ、お刺身、グリーンピースご飯……。食わず嫌いも多くて、知らないものは絶対食べない子どもでした。

どうしてうちの息子は好き嫌いがいいのか? その理由は、私の料理の腕が良いからでも、厳しくしつけているからでもなく、単に赤ちゃんの頃から食べている食品の質がよかったからだと思います。

わが家は車もエアコンもビデオカメラもない家庭ですが、食べ物にだけは少々お金をかけています。有機栽培の野菜・果物、化学飼料を使わない平飼い養鶏の玉子、抗生物質を使わない肉。お金をかけていると言っても、別に目玉が飛び出るほど高いわけではありません。恐らく車一台の維持費よりはずっと安いでしょう。

一番大事なこと

でも味は目玉が飛び出るほど美味しい。特に名古屋に来てからは生産地が身近になり、味が格段にあがりました。野菜も玉子も感動的なおいしさです。もちろん栄養価も安全性もあがったでしょう。

その日の朝に収穫した安全な野菜を、夕方届けてもらって調理する。なんという贅沢な生活でしょうか。味や香りが良いだけじゃなく、食べていると野菜の底力というものを感じます。大地のエネルギーを食べてるって感じ。

言ってみれば、わが家は味覚の英才教育をしているわけです。有機野菜を食べている他の家庭でも、子どもが野菜好きという話はよく聞きます。子どもは美味しいものがわかりますからね。

私が子どもの頃は高度成長期のまっただ中でした。きっと化学肥料や農薬がバンバン使われていたことでしょう。野菜も玉子も肉も、きっと美味しくなかったんだろうなあと思います。

昨今の奥さま雑誌では、いかに食費を節約して車やブランド服を買うかが関心事のようですが、一番大事なことは命の源である食じゃないでしょうか。それをないがしろにして、何の贅沢かと思います。

そのテの雑誌では、子どもの好き嫌い克服もテーマの一つみただけど、ピーマンを食べさせるためにオムライスの上にせつせとキティちゃんの顔を描くより、有機野菜を買う方がずーっと簡単ですヨ。是非おためし下さい。

日刊新聞と折込チラシのはじまり

現在、家庭から出る“資源となる”紙類の大部分を占めるのが、古新聞と折込チラシです。日本は新聞の発行部数が世界のトップレベルで、全国に展開する戸別配達制度の普及率も群を抜いています。毎日欠かさず発行される日刊新聞の歴史をたどってみれば、なんと日本で最初の日刊新聞は『横浜毎日新聞』で、1871年(明治4)、旧暦の12月8日に発行されたのです。活字を使って印刷された表裏2ページものでした。それから130年ほど経た2001年4月1日現在のデータによると、全国では112社から日刊新聞が発行されています。1世帯当たり1.12部(朝夕刊をセットにして1部)を定期購読している計算になり、これはノルウェーに次いで世界第2位。折込チラシのほうはいえ、1872年(明治5)に東京日日新聞で“新聞附録”として引札(江戸時代から続く広告の一種で、商店の売り出しや開店のお知らせに使われた。客を引く札、ということから名付けられた)が配付されたのが始まり。明治時代後期には“挿広告”と呼ばれ、時代とともに少しずつ変化し現在の形態になりました。新聞の発行部数とともにその数を伸ばしていったチラシ。合体して毎朝新聞受けに届けられるのですから、その量も多くて当然。非常にリサイクルしやすいある古紙といえるでしょう。

市内中区に2000年10月にオープンした日本新聞博物館は、日本の新聞の歴史や技術を紹介しています。15万点に及ぶ資料や模型、映像、新聞ライブラリーなどによって、生きた歴史を学ぶことができます。1929年(昭和4)築の旧横浜商工奨励館を保全・活用した建物も見ごたえがあります。(中区日本大通11 横浜情報文化センター内・月曜休館・045-661-2040)

コラム

『リサイクル
今とむかし』
こぼれ話

このコラムでは、月刊リサイクルデザインの別冊として発行した『リサイクル 今とむかし』に掲載しきれなかった「こぼれ話」を連載します。

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●**横浜市資源リサイクル事業協同組合** (リサイクルデザイン発行母体) では協力会員 (通称リサイクルデザインサポーター) を募集しています。

リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりについて、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●参加資格・条件

1. 横浜市内にお住まいの個人および団体 (集団回収実施団体・市民団体など) の方
2. 私たちの活動をご理解、ご支援していただける方
3. ご本人の入会意思と、正組合員の推薦
4. 脱退は原則自由です
5. 入会金や年会費はありません

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

1. ご住所
2. お名前
3. 電話番号
4. 「リサイクルデザインサポーター 申込希望」とご明記下さい。

折り返し申込書をお送りいたします。

●資料請求先

横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050
FAX 045-316-6050
Eメール mail@recycledesign.or.jp

「リサイクル教室」 出前講師を派遣します

リサイクル組合の組合員が、学校でリサイクルの話をする「出前講師」になったきっかけは、ある生徒さんがリサイクルデザインに載った、ある組合員の記事を読んで、「この人の話が聞きたい」と先生に希望したことから始まっています。

リサイクル組合では、地域や学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣します。ご希望の方はぜひご相談ください。

問合せ TEL 045-316-4050

2004年 出前講師派遣状況

日時	学校名	対象
1/13	金沢区八景小学校	5年1組
1/28	泉区中田小学校	6年生
2/9	環境事業局南事務所	
2/21	南区六ツ川台あいの会	
2/26	旭区善部小学校	6年生
3/11	南区六ツ川連合自治会婦人部	
3/15	青葉区新石川小学校	4年生
3/17	横浜消費生活考える会	
3/16	旭区G30サポーター	

環境絵日記

2003年第9回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。

分別して地球をすくおう!



馬場小学校 3年 中村 充志
8月13日 水曜日 天気 晴れ
ぼくは、町でゴミを分別しないですてる人を見て思いました。ゴミをすてるなら分別して、リサイクルを何回もくりかえしてゴミをへらせばいいと思いました。そうすれば今までの地球のゴミをへらせると思ったからです。みんなできょう力してきれいな地球にしましょう。
きっと地球は、よろこんでくれるはずです。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん



で
古紙をしばればまるごとリサイクル

1巻きの長さ90m

価格 (税込)

送料

バラ売り

1巻250円

1~6巻400円
7巻~ 600円

箱売り
(1箱50巻)

1~9箱

1箱11500円
(1巻230円)

価格に
含まれます

10箱~

1箱 9500円
(1巻190円)

お申し込み
お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

山結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・磯子区・都筑区・鶴見区・神奈川区の区役所売店 ●グリーンバザール (南区) ●ブックショップふれあい戸塚店 (戸塚区ダイエー横) ●大船店 (鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすずきや (戸塚区) ●御菓子処おきな堂 (神奈川区) ●村松商店 (鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所 (神奈川区) ●ぶらむろーど杉田商店街事務所 (磯子区) ●バラエティたかはし屋 (神奈川区)

※振込手数料をご負担ください 販売して下さるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年3月現在
日経 3/25

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	5~5.5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空きカン等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050
FAX 045-316-6050

『リサイクル今とむかし』リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル 今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中!



※グリーンバザール(南区六ツ川)に置いてあります

価格 350円 (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

今年の桜はゆっくり、ながく目を楽しませてくれましたね。花吹雪が散り終えるのを待ち切れずぐんぐん芽吹く若葉の力強さに、初夏を感じる頃となりました。

さて、今回は『あおば紙の日』を特集しましたが、いかがでしたか? わたしの住んでいる町でも、ぜひひやうてほしいなあ、なんて思っている次第でございます。(自画自賛?) 読者のみなさんも「わたしの町でもやってみよう!」なんて少しでもお思いでしたら、リサイクル組合までご相談下さい。

編集室から

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●ブックショップふれあい戸塚店(ダイエー横)・大船店 ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・金利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まさき原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ店 ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ杜(港北区日吉) ●さまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●横浜国際ホテル(西区南幸) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生生活協同組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町)

月刊 リサイクルデザイン No.116

発行日: 2004年4月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市西区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

